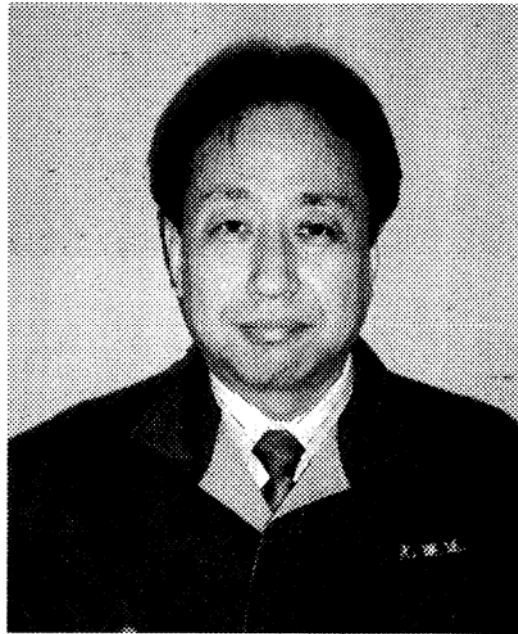


わが社の事故防止

三光運送



「Gマークは乗務員の努力の賜物」と小林社長

ライフレコーダー画像もブ

ロシエクターで確認してい

る。見慣れた道路でのヒヤ

リ・ハットの事例を見ると、

全員が真剣に事故防止を考

えるようになる」と小林社

長は話す。

トラック協会の助成制度

を利用し、埼玉県トラック

ドライバー・コンテスト」

にも参加。無事故・無違反

達成者には賞金を出すなど

モチベーションアップの工

夫も欠かさない。

同社ではドライバーを

「乗務員」と呼ぶ。地位向

上と仕事にプライドを持つ

てもらったため、Gマーク

取得時に、小林氏は乗務員

に対し「Gマークは日頃の

みなさんの取り組みの賜物

(たまもの)。これからも安

安全レベルに社内基準

昨年12月に安全性優良事業所認定(Gマーク)を取得した三光運送(小林茂樹社長、東京都府中市)は、

安全運転レベルの社内基準

を設けるなどして事故防止

を図り、高品質輸送を提供

している。

売り上げの5割は飲料だ

が、エアサス車による防振

輸送で差別化を実現し、荷

主を拡大。精密機器、美術

品、食器などデリケートな

製品の輸送を得意とする。

速度、運転操作、アイドリ

ング時間については自社基

準をつくり、毎月の安全会

議でデジタルタコグラフの

データを基に評価を公表。

全員が最上級のAランクに

なるよう指導を続ける。「ド

総合教育センター(埼玉県

深谷市)での実車研修も受

けさせている。フルブレー

キングや路面に水をまいて

のスリップ体験といった、

日頃の運行ではできない体

験が効果的」

マンネリ化を防ぐため、

警視庁主催の「セーフティ

全運転を」と呼び掛けた。

荷主に個人情報扱う精

密機器メーカーがあるた

め、年内にはプライバシー

マーク(Pマーク)取得を

目指す。小林氏は通関士資

格を持ったため、通関業への

参入も視野に入れている。

(吉田 英行)